

どうにも止まらない！高部8連覇！

父親ソフトボール大会

エース保険カップ争奪(静岡新聞・SBS静岡放送共催・後援)第38回静岡県父親ソフトボール大会で清水市代表の高部小学校区が浜松市代表の初生小学校区を決勝で下し、10回目の優勝を達成すると共に大会史上初の8連覇を遂げ、優勝に華を添えた。なお、大会最高殊勲選手には山内投手(高部)が、また、最優秀選手には吉積投手(初生)が選ばれた。三位には大平小学校区(沼津市)が入賞。

【準決勝】 高部小(清水) 2 - 1 大平小(沼津)、初生小(浜松) 6 - 2 富岡小(駿東)

【決勝】 【三位決定戦】 大平小(沼津) 4 - 2 富岡小(駿東)

高部小 0211202 8
初生小 0002011 4

高部小は二回表、二死・二三塁から九番中沢の一・に塁間を抜く右前安打で2点を先制。その後、六回を除いて小刻みに得点を重ね、相手の反撃を四点に抑え、大会8連覇となる十回目の優勝を決めた。初生小も中盤に2点差まで迫ったが、高部の攻撃を止めるられず敗れた。



8連覇を達成した高部小学校区の皆さん

高部小監督・ナインの声

和田監督

疲れた。準決勝を山内の一振りで逃げ切ったのが大きい。8連覇は出来ると思ったが、初日、この日と打撃が湿り投手オンブだった。7連覇より苦しかった。

山内投手

初戦と準決勝の一発が投球を支えてくれた。逆転の一発は狙っていたアウトローが来たので持っていた。最高殊勲選手は5回目で嬉しい。

望月主将

8連覇の全てに出場しているが、『すごい』の一言に尽きる。他チームに若い選手が入ってきており、苦しい大会だった。

森選手

助っ人として同じ校区の一人として出場してるが『すごい』の一言。プレッシャーが先行して、点を取るのがキツク年々厳しくなる。



左から和田監督・望月・山内・森選手